

講義名	日本語総合A(1年生のみ)			授業形態	
担当教員	井関 和恵	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

大学生活を送るための基礎的な日本語能力を身につける。この授業では、日本語の文法項目について、基本的なものから日本語能力試験上級レベルのものに至るまで、幅広く意味や使い方を学ぶ。また、文法知識を学ぶだけではなく、実際の日本語でのコミュニケーションや文章でどのように使われるかについても考える。

到達目標

大学における学習活動に役立つように、基本的な文法構文の意味理解だけでなく、運用もできるようになる。また、適切な日本語で表現し、課題作成もできるようになる。

提出課題

ワークシート、宿題など、授業内もしくはポータル上で随時指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

それぞれの学生に課したテストや課題について一人一人にチェックおよびコメントを行う。また、全体の講評・解説なども行って、フィードバックをする。

評価の基準

授業への参加度（30%）、授業内発表（10%）、中間試験（30%）、期末試験（30%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとる。
- ・15分以上の遅刻は、欠席とみなす。
- ・授業には、辞書を持って来ること。
- ・全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受ける資格を失う。
- ・積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

その他

日本語総まとめ文法シリーズ等のプリント資料を配布、もしくはウェブ資料を利用する。

授業計画

- 第1回 授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）
- 第2回 受身表現、準備を表す表現など
- 第3回 判断を表す表現、習慣を表す表現など
- 第4回 意志や予定を表す表現、強請を表す表現など
- 第5回 手段や原因を表す表現、名詞に関する表現など
- 第6回 説明する表現、禁止の表現など
- 第7回 受取の表現、立場を表す表現など
- 第8回 中間試験
- 第9回 回線を表す表現、意外性を表す表現など
- 第10回 結果を表す表現、帰属表現など
- 第11回 対象を表す表現、場所を表す表現など
- 第12回 仮定を表す表現、逆接の接続詞など
- 第13回 仮定の接続詞、論議を表す表現など
- 第14回 動作を表す表現、状況を表す表現など
- 第15回 期末試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各資料の語句の読みや意味調べなどの予習を行うこと。（1時間程度）
 学習した項目について理解に時間を要した部分を中心に復習し、次週の小テストに向けて準備をすること。（2時間程度）
 学習内容の定着を図るため、自ら発話練習や作成練習などを行うこと。（1時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」になるための基礎能力として、必要な日本語能力を身につけ、活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考